

IAスーパーSELコントローラ

〔&テーブルトップタイプ〕

パソコン対応ソフト
Windows版

取扱説明書 第5版

ご 注 意

このソフトウェアの著作権は、株式会社 I A I (アイエイアイ) にあります。

このソフトウェア及びマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

ソフトウェアは、コンピュータ 1 台につき 1 セット購入が原則になっております。

このソフトウェア及びマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。

このソフトウェア及びマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承下さい。

このマニュアルの表紙に記載の版数 (V er. または E dition) と、ソフトウェアの版数 (V er.) は全く一致しておりませんので御了承ください。

このマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

本ソフトウェアは W indows3.1、W indows95、W indowsNT で動作します。(本ソフトウェアには W indows は付いていません)。従って、本ソフトウェアを御使用になる人は、W indows の基本的操作を出来る事が前提となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows3.1、W indows95、W indowsNT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Copyright 1995. July I A I Corporation. All rights reserved.

目次

1 . お使いになる前に	4
1 - 1 . ご使用に際して提供されるもの	4
1 - 2 . ご準備していただくもの	4
1 - 3 . 本ソフトウェアのインストール	5
1 - 4 . 本ソフトウェアの起動	5
1 - 5 . 本ソフトウェアの機能とスーパーSELコントローラの対象機種	6
2 . メニューウィンドウ	7
2 - 1 . メニューの説明	7
2 - 2 . コマンドの説明	8
2 - 3 . スピードバーの説明	10
3 . パラメータウィンドウ	13
3 - 1 . プログラムパラメータ	13
3 - 2 . シリアルI/Oパラメータ	14
4 . プログラム実行ウィンドウ	15
5 . プログラム編集ウィンドウ	17
5 - 1 . プログラム編集ウィンドウの項目説明	17
5 - 2 . エラーウィンドウの説明	19
5 - 3 . プログラム保存、及び編集終了について	20
6 . プログラム選択ウィンドウ	21
6 - 1 . プログラム複写	21
6 - 2 . プログラム削除	22
7 . ポイント編集ウィンドウ	23
7 - 1 . ポイント編集ウィンドウの項目説明	23
7 - 2 . ポイント保存、及び編集終了について	24

8 . 軸状態・操作ウィンドウ	25
9 . 入出力ポート・フラグウィンドウ	26
10 . グローバル変数ウィンドウ	27
11 . メモリ消去ウィンドウ	28
* 補足	
「スーパー SEL パソコン対応ソフト Windows 版、付属アプリケーション」(コンバータ)	29

1 お使いになる前に

1-1. ご使用に際して提供されるもの(製品構成)

本ソフトウェアの使用に際しまして、次のものが提供されていることを御確認下さい。

本マニュアル	1冊
ソフトウェアの入った3.5インチフロッピーディスク	2枚
ソフトウェア使用許諾契約(説明)書	1枚
ユーザー登録カード(ソフトウェア使用許諾契約書兼用・官製はがき)*1	1枚
標準RS232Cケーブル*2	1本

(*1 ユーザー登録カード(ソフトウェア使用許諾契約書)は、必ず弊社まで御返送下さるよう御願ひ申し上げます。御返送されない場合は、ユーザーサポートができなくなります)

(*2 NEC製コンピューター御使用の際、一部機種においては、別途、アダプターを必要とする場合があります)

1-2. ご準備していただくもの(動作環境)

本ソフトウェアは、次のようなコンピュータ本体や周辺機器が必要です。

コンピュータ本体、及び適合するキーボード

Windowsが動作するパーソナルコンピュータ*1、及び適合するキーボード。

(*1 パーソナルコンピュータ：以下、本書では「パソコン」と略記します)

メモリ

Windowsを動作させるのに必要なメモリ容量に準じます。

ディスプレイ

パソコン本体に適合するディスプレイ*1。

(*1 ディスプレイ：以下、本書では「CRT」とも表記します)

グラフィックボード

VGA以上。

マウス等ポインティングデバイス、及び適合するマウスドライバ

本ソフトウェアを快適に操作していただく為のマウス等ポインティングデバイス、及び適合するマウスドライバ。

Windows

Windows3.1、Windows95、Windows NT

フロッピーディスクドライブユニット

3.5インチ型1.25または1.44MBフロッピーディスクドライブユニット。

ハードディスク

2MB以上の空き領域があるハードディスク。(本ソフトはハードディスクにインストールして使用)

シリアルポート

RS232Cシリアルポート(25または9ピン)

プリンタ

パソコン本体に適合するプリンタ。

1-3. 本ソフトウェアのインストール

本ソフトは、パソコンのハードディスクにインストールして使用します。ここでは、本ソフトのインストール方法を説明致します。

フロッピードライブに本ソフトのディスク1を挿入します。

ディスク1にある Setup.EXE を実行してください。

インストールプログラムが実行されますので、メッセージに従って操作してください。

インストールプログラムが終了すると、Windows3.1の場合はSELWINという名前のグループアイコンが作成され、画面上に現われます。その中のSELWINアイコンをダブルクリックすると、本ソフトが起動します。

また、Windows95、WindowsNTの場合は、スタートメニューにSELWINという項目が作成され、その項目を選択することにより本ソフトが起動します。

1-4. 本ソフトウェアの起動

スーパーSELコントローラ及びパソコンの電源をOFFにして、付属の標準RS232Cケーブルにて、スーパーSELコントローラとパソコンを接続します。

スーパーSELコントローラ及びパソコンの電源を投入し、Windowsを起動します。

本ソフトを起動します。

(本ソフトは、起動する際に、スーパーSELコントローラとパソコンが接続されているか否かによって、オンラインモードかオフラインモードかを判定していますので、本ソフト起動後にスーパーSELコントローラとパソコンを接続してもオンラインモードで使用することはできません)

御使用のパソコンに2台以上のスーパーSELコントローラが接続されている場合は、通信ポートの選択ウィンドウが開きますので、目的のコントローラが接続されているポートを選択します。

オフラインの場合は、アクチュエータの軸数を尋ねるウィンドウが開きますので、適切な軸数を選択して下さい。

本ソフトのメインメニュー(初期メニュー画面)が現れますので、以降は操作目的に応じて、画面表示に従いながら適切な入力を行って下さい。

1-5. 本ソフトウェアの機能とスーパーSELコントローラの対象機種

本ソフトの機能のうち、コントローラの機種により使用できない機能があります。それを下記に表示します。

機 能	スーパーSEL・E / Gタイプ	スーパーSEL・C / Dタイプ	スーパーSEL・A / Bタイプ (テーブルトップタイプ)
オフラインのパラメータ印刷	可	可	可
プログラムの一括読込・保存	可	コントローラ・メインソフト Ver.2.0以降で可	不 可
変数の内容チェック	可	コントローラ・メインソフト Ver.2.0以降で可	不 可
拡張命令語	可	一部通信機能のみ不可	不 可

拡張命令語は、スーパーSELコントローラ・A / Bタイプ及びテーブルトップタイプでは御使用になれません。尚、拡張命令語には次ぎのコマンドがありますが、詳細につきましては、お買い求めのスーパーSELコントローラに添付の取扱説明書を御参照願います。

* 拡張命令語

アクチュエータ制御宣言(SCRV)
 アクチュエータ制御命令(MVPI, MVLI, AXST)
 タイマー命令(GTTM)
 演算命令(TRAN)
 ポジションデータ操作命令(PAXS)
 構造化IF命令(IFEQ, IFNE, IFGT, IFGE, IFLT, IFLE, ELSE, EDIF, ISEQ, ISNE)
 構造化DO命令(DWEQ, DWNE, DWGT, DWGE, DWLT, DWLE, LEAV, ITER, EDDO)
 外部入出力命令(OPEN, CLOS, READ, WRIT, SCHA)
 スtring処理命令(SCPY, SCMP, SGET, SPUT, STR, STRH, VAL, VALH, SLEN)

本ソフト(Windows版)とDOS版のデータのコンバータは、巻末の「補足」を御参照下さい。

2 .メニューウィンドウ

2-1. メニューの説明

本ソフトが起動しメインのウィンドウが開かれると、9項目のメニューとスピードバー上に23個のアイコンが現れます（初期画面：メインメニュー）。



オンライン起動画面



オフライン起動画面

オフライン状態では、幾つかのメニューやアイコンは、表示されません。

2-2. コマンドの説明

ファイル(F)

新規作成

 プログラム(P)
 ポイント(O)

開く(O)

上書き保存(S) Ctrl+S

名前を付けて保存(A) Ctrl+A

コントローラへ転送(L)

印刷(R)

終了(X)

オフラインでのファイル操作を行います。

プログラム・ポイントデータファイルを新規に作成します。

新規プログラムの編集ウィンドウを開きます。

新規ポイントデータの編集ウィンドウを開きます。

登録されているプログラム・ポイントデータファイルを選択して開きます。

編集中のプログラム・ポイントデータを、同一名称ファイルとして上書き保存します。

編集中のプログラム・ポイントデータを、別名称ファイルとして名前を付けて保存します。

登録されているプログラム・ポイントデータ・パラメータファイルを選択して、コントローラへ転送して読み込ませます。

選択されたプログラム・ポイントデータ・パラメータファイルを印刷します。

本ソフトを終了します。

編集(E)

切り取り(U)Ctrl+X

複製(C)Ctrl+C

張り付け(P)Ctrl+V

挿入(I)Ctrl+I

検索(S) Ctrl+F

次検索(N)Ctrl+N

置換(R)Ctrl+R

プログラムエラー確認(H)Ctrl+E

プログラム・ポイントデータを編集する場合の補助作業を行いません。

マークされた行をクリップボードへ移動します。

マークされた行をクリップボードへ複製します。

マークされた行へクリップボードのデータを複製します。

カーソルで指定した行に1行挿入します。

検索する文字列の設定および検索を行いません。

上記で設定された文字列を、続けて検索します。

設定された文字列を検索し、設定された文字列に置換えます。

編集中のプログラムのエラー確認を行いません。

パラメータ(M)

プログラム(P)

ポイント(O)

サーボ(E)

軸(A)

サーボ(A)

原点復帰(H)

モータ(M)

ゲイン(G)

機構(C)

シリアルI/O(L)

チャンネル(1)

チャンネル(2)

高速入力(I)

保存(S)

印刷(R)

パラメータ関連を扱います。(オンライン)

プログラムパラメータの変更を行いません。

ポイントパラメータの変更を行います。

サーボパラメータの変更を行います。

軸別パラメータを扱います。

軸別サーボパラメータの変更を行いません。

軸別原点復帰パラメータの変更を行いません。

軸別モータパラメータの変更を行いません。

軸別ゲインパラメータの変更を行いません。

軸別機構パラメータの変更を行いません。(バージョン3.0以降のみ表示)

シリアルI/Oパラメータを扱います。(SIOボード搭載時のみ表示)

チャンネル1のシリアルI/Oパラメータの変更を行いません。

チャンネル2のシリアルI/Oパラメータの変更を行いません。

高速入力パラメータの変更を行いません。(高速入力ボード搭載時のみ表示)

パラメータをファイルに名前を付けて保存します。

パラメータの印刷を行いません。

プログラム(P)

実行(U)

コントローラ内のプログラム関連を扱います。(オンライン)
指定されたプログラムの実行・停止を行ないます。複数プログラムを並行して実行できます。

編集(E)

プログラムの編集を行います。

書込み(W)

編集中のプログラムをコントローラに書込みます。

複写(C)

プログラムの複写を行ないます。

削除(D)

プログラムの削除を行ないます。

保存(S)

プログラムをファイルに名前を付けて保存します。

一括保存(V)

コントローラ内の全てのプログラムを1個のファイルとして名前を付けて保存します。

印刷(R)

プログラムの印刷を行ないます。

ポイント(R)

編集(E)

コントローラの位置データを扱います。(オンライン)

書込み(W)

指定した範囲のポイントの編集を行ないます。

位置取得(G)Ctrl+G

編集中のポイントをコントローラに書込みます。

削除(D)

軸の現在位置をカーソル位置に読み込みます。

保存(S)

指定した範囲のポイントの削除を行ないます。

印刷(R)

編集中のポイントファイルに名前を付けて保存します。

ポイントの印刷を行ないます。

テスト(T)

サーボ(S)

コントローラの操作関連を扱います。(オンライン)

入力(I)

軸の状態確認、およびジョグ動作を行ないます。

出力(O)

入力ポートの状態の表示を行ないます。

プラグ(F)

出力ポートの表示、変更を行ないます。

変数(A)

プラグの表示、変更を行ないます。

バージョン(V)

グローバル変数(200 ~ 399)の表示を行ないます。

消去(C)

バージョンの表示を行います。

リセット(R)

コントローラ内のパラメータ・プログラム・ポイントの消去を行ないます。

コントローラのリセットを行ない、電源ON時と同じ状態となります。

設定(S)

プリンタ-(R)

プリンタの設定をします。

ウィンドウ(W)

カスケード(C)

画面表示されているウィンドウの管理を扱います。

タイル横(H)

表示されている複数のウィンドウを斜めに少しずつずらして並べます。

タイル縦(V)

表示されている複数のウィンドウを水平方向に分割して並べます。

アイコンの整列(I)

表示されている複数のウィンドウを垂直方向に分割して並べます。

アイコンを最下段に並べます。

ヘルプ(H)

目次(C)

SEL Winの使い方・SEL言語・資源についての説明をします。

検索(S)Ctrl+H

トピックの検索をし、そのキーワードの説明をします。

情報(A)

ソフトウェアの著作権、バージョン等を表示します。

2-3. スピードバーの説明



プログラムファイルの新規作成を行います。
ファイル(F) 新規作成(N) プログラム(P)と同様の動作をします。



ポイントファイルの新規作成を行います。
ファイル(F) 新規作成(N) ポイント(O)と同様の動作をします。



ファイルの編集を行います。
ファイル(F) 開く(O)と同様の動作をします。



コントローラへ読み込みます。
ファイル(F) コントローラロード(L)と同様の動作をします。



編集内容をファイルへ保存します。
ファイル(F) 上書き保存(S)、または名前を付けて保存(A)と同様の動作をします。



編集内容をコントローラへ書込みます。
プログラム(P) 書込み(W)、またはポイント(R) 書込み(W)と同様の動作をします。



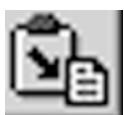
ファイルの印刷を行ないます。
ファイル(F) 印刷(R)と同様の動作をします。



選択範囲をクリップボードへ切取ります。
編集(E) 切取り(U)と同様の動作をします。



選択範囲をクリップボードへ複写します。
編集(E) 複写(C)と同様の動作をします。



クリップボードの内容を張付ます。
編集(E) 張付け(P)と同様の動作をします。



文字列の検索を行ないます。

編集(E) 検索(S)と同様の動作をします。



指定された文字列の次の検索を行ないます。

編集(E) 次検索(N)と同様の動作をします。



指定された文字列を指定された文字列への置換を行ないます。

編集(E) 置換(R)と同様の動作をします。



プログラム実行ウィンドウを開きます。

プログラム(P) 実行(U)と同様の動作をします。



プログラムのエラーチェックを行ないます。

編集(E) プログラムエラー確認(H)と同様の動作をします。



軸の現在位置をポイントデータとして取得します。

ポイント(R) 位置取得(G)と同様の動作をします。



軸の状態表示と操作を行ないます。

テスト(T) サホ(S)と同様の動作をします。



入力ポートの状態を表示します。

テスト(T) 入力(I)と同様の動作をします。



出力ポートの状態を表示します。

テスト(T) 出力(O)と同様の動作をします。



フラグの状態を表示します。

テスト(T) フラグ(F)と同様の動作をします。



グローバル変数の内容を表示します。
テスト(T) 変数(A)と同様の動作をします。



ヘルプ画面を表示します。
ヘルプ(H)の中の検索と同様の動作をします。



コントローラの再起動(リセット)を行ないます。
テスト(T) リセット(R)と同様の動作をします。

3 パラメータウィンドウ

3-1 プログラムパラメータ

メニューからパラメータ(M) プログラム(P)と選択します。

プログラムパラメータのウィンドウが開かれます。

適切なパラメータを選び、その値を修正します。

なお、半透明になっているプログラム数、タスク数、プログラムステップ数はコントローラ固有の値なので、変更する事は出来ません。

修正後OKをクリックするとプログラムパラメータの書き込みウィンドウが開きますので、はい(Y)をクリックし変更した内容をコントローラに書き込みます。

キャンセルをクリックすると内容を変更せずに終了します。

パラメータ変更後はその設定を有効にする為に、一度リセットする必要があります。



* 上記では、プログラムパラメータについて述べましたが、シリアル I/O パラメータ以外のその他のパラメータについても、操作方法は共通となります。

3-2 シリアル I/O パラメータ

メニューからパラメータ(M) シリアル I/O(L) チャンネル(1)または、チャンネル(2)と選択します
 チャンネル(1)はチャンネル 1、チャンネル(2)はチャンネル 2 の変更をします。

シリアル I/O パラメータのウィンドウが開かれます。
 適切なパラメータを選び、通信先の仕様にあった値をマークしタイムアウトの設定をします。

修正後 OK をクリックするとシリアル I/O パラメータの書込みウィンドウが開きますので、はい(Y) を
 クリックし変更した内容をコントローラに書込みます。
 キャンセルをクリックすると内容を変更せずに終了します。
 パラメータ変更後はその設定を有効にする為に、一度リセットする必要があります。



4 .プログラム実行ウィンドウ

メニューからプログラム(P) 実行(U)と実行します。

タスク状態ウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

Program

プログラム とステップ数が表示されます。ここで実行するプログラムを選択します。

No.

タスク を表示しています。

Sts

プログラムの状態を表示します。

L

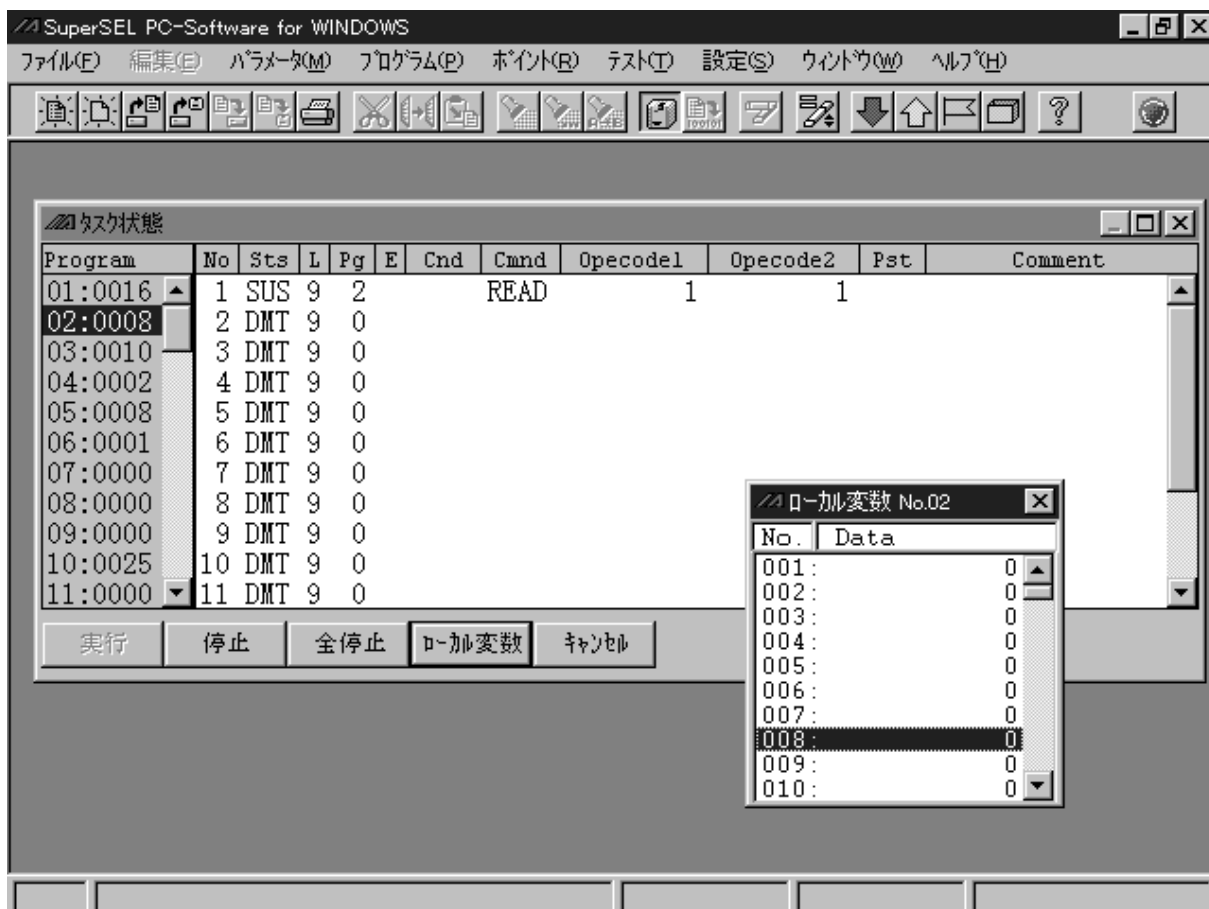
タスクレベルを表示します

Pg

実行中のプログラム を表示しています。

E ~ Comment

現在実行しているステップを表示します。各項目はプログラム編集のものと同じです。



このウィンドウには次のボタンがあります。

実行

プログラムリストで選択されているプログラムを実行します。

停止

タスクリストで選択されているプログラムを停止します。

全停止

実行中の全てのプログラムを停止します。

ローカル変数

タスクリストで選択されている実行中プログラムのローカル変数ウィンドウを開きます。

キャンセル

ウィンドウを閉じます。ウィンドウを閉じても実行中のプログラムは停止しません。

5 .プログラム編集ウィンドウ

5-1. プログラム編集ウィンドウの項目説明

メニューからプログラム(P) 編集(E)と選択します。

プログラム選択ウィンドウが表示されますので、編集するプログラム を選択しOKをクリックします。

コントローラプログラムウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

S t e p

プログラムの行番号が表示されます。入力の必要はありません。

E

拡張条件を指定します。AかOで指定します。

A = A n d

O = O r

を表しています。

N

入力条件の反転を指定します。Nを指定すると反転になります。

N = N o t

C n d

入力条件を指定します。入出力ポート・フラグを指定します。
範囲は1～999です。

C m n d

コマンドを指定します。アルファベットキーをキーボードから直接入力するか、ここでダブルクリックして、プログラム命令リストの内容を呼び出して選択します。必要なコマンドをキー入力すると、該当するコマンドにカーソルが合います。リターンキーを押すか、ダブルクリックすると、コマンドが入力されます。

O p e r a n d 1、 2

ここに入力できるデータには次のものがあります。

数値

数値データ、入出力ポート・フラグ、変数 、カラム 、タグ 、サブルーチン 、軸 、ポジション 、プログラム 、タスクレベル、資源 、チャンネル 等で、直接数字を入力します。

変数

数値データを指定する項目で、*変数 と入力する事によって間接指定が出来ます。
例えば変数1に10が入っていた場合、*1と指定すると10を指定した場合と同じ動作をします。

軸パターン

2進数表記で軸を指定します。

0 = 非選択

1 = 選択

となります。

文字列

" で囲まれたデータは、文字列として認識します。

'SEL' の様に入力します。一度に指定できる文字数は半角 4 文字までです。

P s t

各命令ごとの結果条件に合った場合にオンにされる出力ポート・フラグを指定します。

入力は数値で、範囲は 3 0 0 ~ 9 9 9 です。

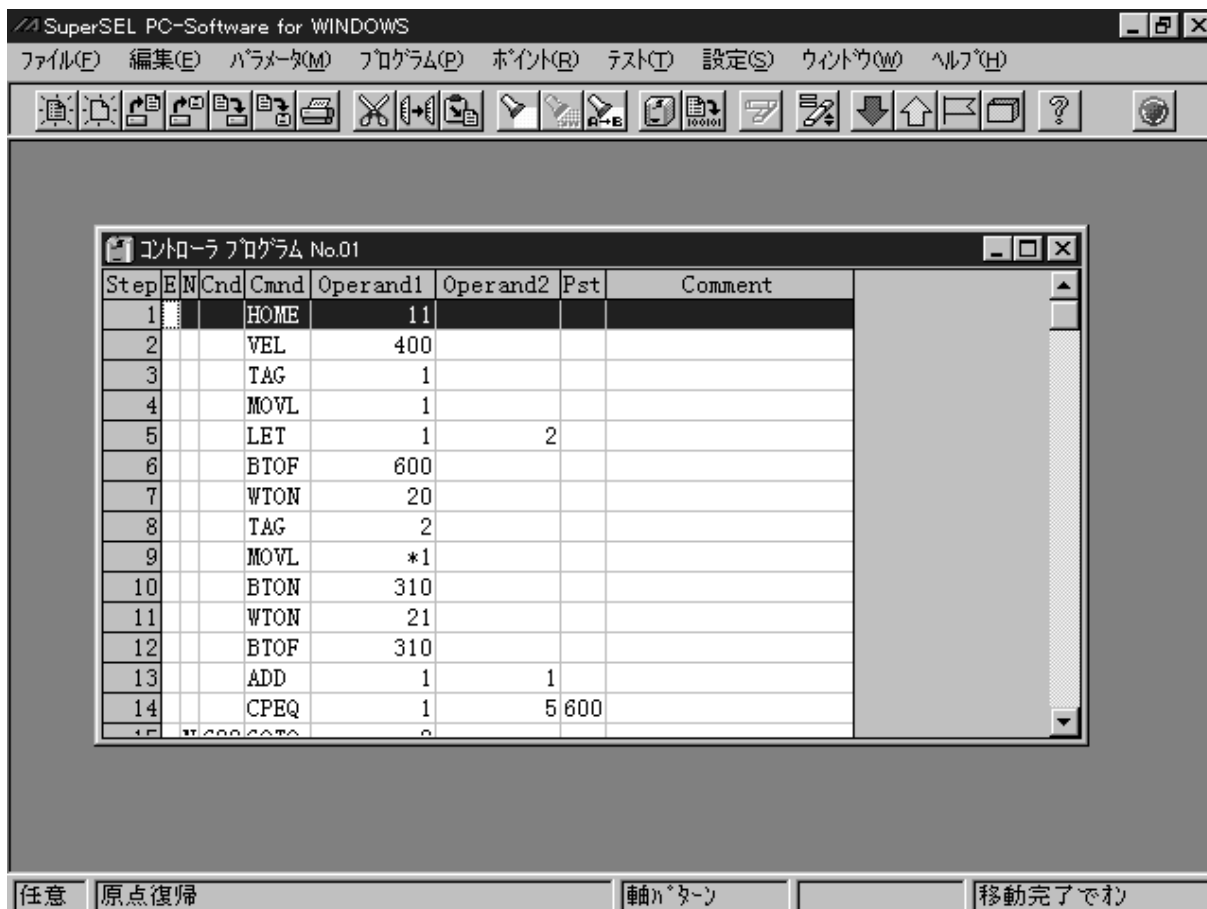
Comment

プログラムの注釈を書いておく事が出来ます。文字数は 1 8 文字(半角)です。

ここを有効に使用し、見易いプログラムを作るのに役立ててください。

また、コメントだけの行や空白行も許されるので必要に応じて使用して下さい。

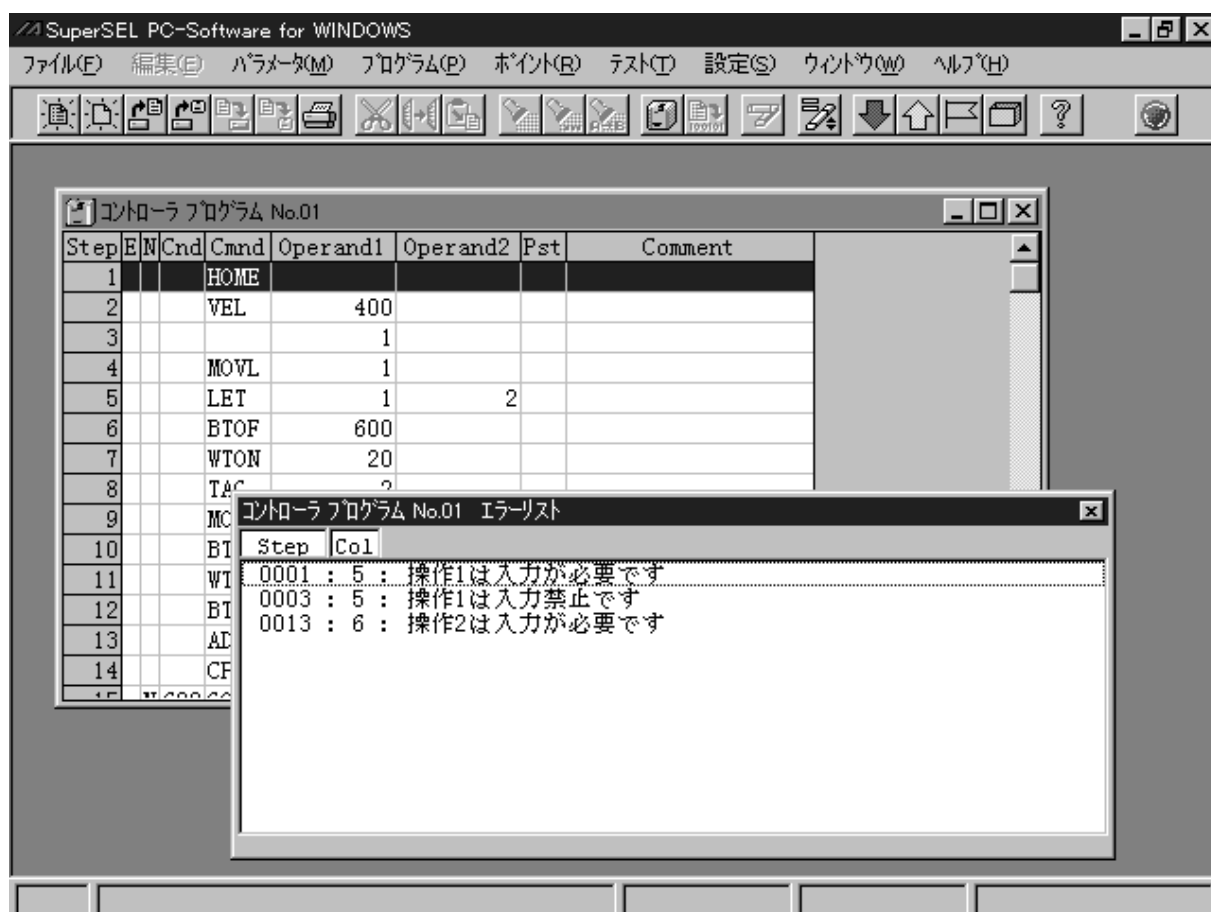
Comment にカーソルを合わせ、リターンキーを押すと次の行に移動します。



5-2. エラーウィンドウの説明

メニューから編集(E) プログラムエラー確認(H)と選択します。

プログラムエラー確認を実行すると、エラーがあった場合は、エラーリストが表示されます。エラーリストには、行番号と列番号およびエラーの種類が書かれており、そこをダブルクリックするとそのエラーがある位置へカーソルが移動します。



5-3. プログラム保存、及び編集終了について

ファイル(F) 上書き保存(S)

プログラムをファイルに保存します。

注) ファイル名が指定されていない場合は と同様となります。

ファイル(F) 名前を付けて保存(A)

プログラムに名前を付けてファイルに保存します。

プログラム(P) 書き込み(W)

プログラムをコントローラに保存します。

コントローラプログラム編集時のみ使用可能です。

注) プログラムにエラーがあった場合は、エラーウィンドウを表示します。

プログラム編集ウィンドウを閉じる

編集終了時に書込確認のメッセージが表示されます。

はい(Y)

プログラムを更新して終了します。

プログラムを読み込んだ所へ書き戻します。

いいえ(N)

プログラムを破棄して終了します。

キャンセル

終了を中止して編集を続けます。

注)保存時には自動的にプログラムエラー確認が行なわれます。エラーがあった場合は、保存を中止します。

6 .プログラム選択ウィンドウ

6-1 プログラム複写

メニューからプログラム(P) 複写(C)と選択します。

プログラム複写のウィンドウが表示されます。

複写元のプログラム No. をダブルクリックするとインフォメーションに複写元プログラム が表示されます。

複写先のプログラム No. をクリックするとインフォメーションに複写先プログラム が表示されますので下記のボタンを選択しクリックしてください。

追加

複写先のプログラムの最後に複写元のプログラムを複写します。

上書き

複写先のプログラムを消去しその先頭へ、複写元のプログラムを複写します。

キャンセル

中止終了します。



6-2. プログラム削除

メニューからプログラム(P) 削除(D)と選択します。

プログラム削除のウィンドウが表示されます。

削除するプログラム をクリックするとインフォメーションに削除プログラム が表示されます。

削除ボタンをクリックするとプログラムを削除します。

7 ポイント編集ウィンドウ

7-1. ポイント編集ウィンドウの項目説明

メニューからポイント(R) 編集(E)と選択します。

ポイントデータ選択ウィンドウが表示されますので、編集範囲を選択し、OKをクリックします。

コントローラポイントデータウィンドウが表示され、このウィンドウには次の項目があります。

No .

ポイント No. です。入力の必要はありません。

Acc

加速度を指定します。

設定範囲は 0 . 0 1 ~ サーボパラメータの最大加速度までです。

Vel

速度を指定します。

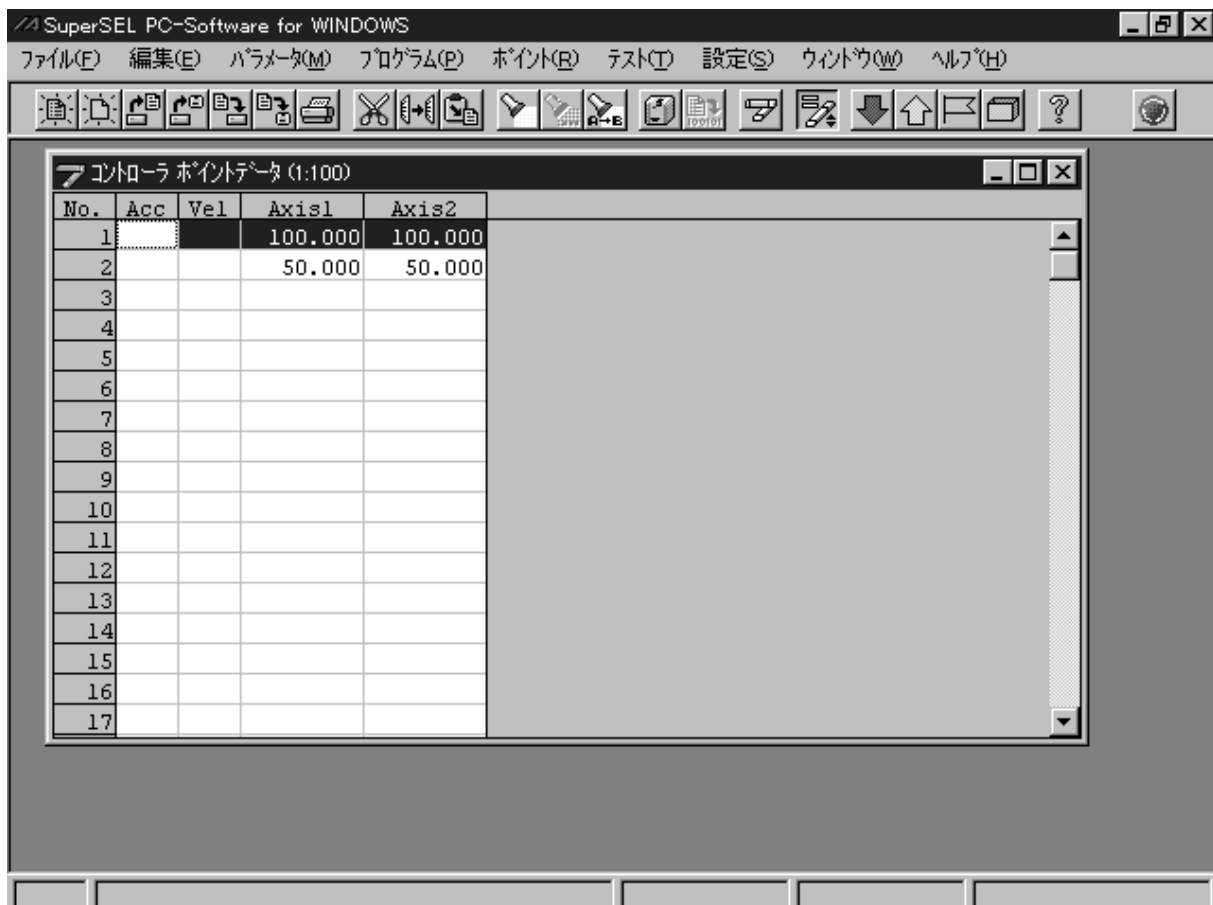
設定範囲は 1 ~ サーボパラメータの最大加速度までです。

Ax i s 1 ~ 8

各軸の位置を指定します。

設定範囲は - 9 9 9 9 . 9 9 9 ~ 9 9 9 9 . 9 9 9 です。

最終 Axis にカーソルを合わせ、リターンキーを押すと次の行に移動します。



7-2. ポイント保存、及び編集終了について

ファイル(F) 上書き保存(S)

ポイントをファイルに保存します。

注) ファイル名が指定されていない場合は と同様となります。

ファイル(F) 名前を付けて保存(A)

ポイントに名前を付けてファイルに保存します。

ポイント(R) 書き込み(W)

ポイントをコントローラに保存します。

コントローラポイント編集時のみ使用可能です。

ポイント編集ウィンドを閉じる

編集終了時に書込確認のメッセージが表示されます。

はい(Y)

ポイントを更新して終了します。

ポイントを読み込んだ所へ書き戻します。

いいえ(N)

ポイントを破棄して終了します。

キャンセル

終了を中止して編集を続けます。

8 .軸状態・操作ウィンドウ

メニューからテスト(T) サーボ(S)と選択します。

軸状態・操作ウィンドウが表示されます。

軸の選択スイッチ、軸No.、現在位置、ステータスが表示されます。ここで、ポイント(R) 編集(E)でポイント編集ウィンドウ(コントローラ・ポイント・データ)を開いておいて、ポイント(R) 位置取得(G)を選択すると、軸の現在位置を取り込みます。

軸動作スイッチをクリックする事により、軸状態の選択スイッチで指定した軸が動作ます。

原点復帰

指定された軸を原点復帰します。

前進 / 後進

軸のジョグ移動を開始させます。

軸はスイッチを押している間、動作を行ないます。

サーボON / OFF

サーボのON / OFFをします。

加速度

移動時の加速度を設定します。

速度

移動時の速度を設定します。



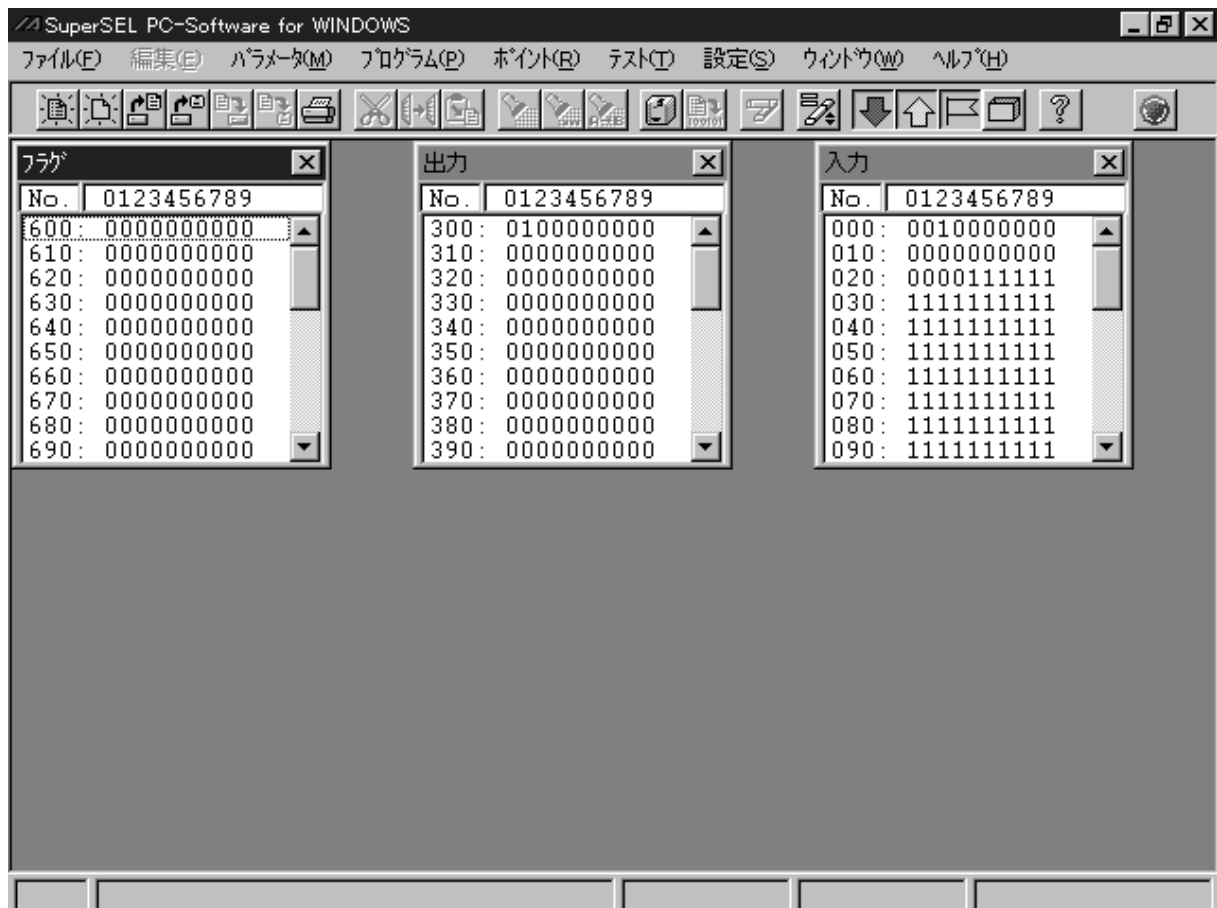
9 入出力ポート・フラグウィンドウ

メニューからテスト(T) 入力(I)または、出力 (O)または、フラグ (F)と選択します。

入力、出力、フラグのウィンドウが表示されます。

それぞれ現在の入力ポート、出力ポート、フラグの値を示しています。

出力とフラグにおいては、0 / 1 キーでカーソル位置出力、フラグの状態を反転することが出来ます。

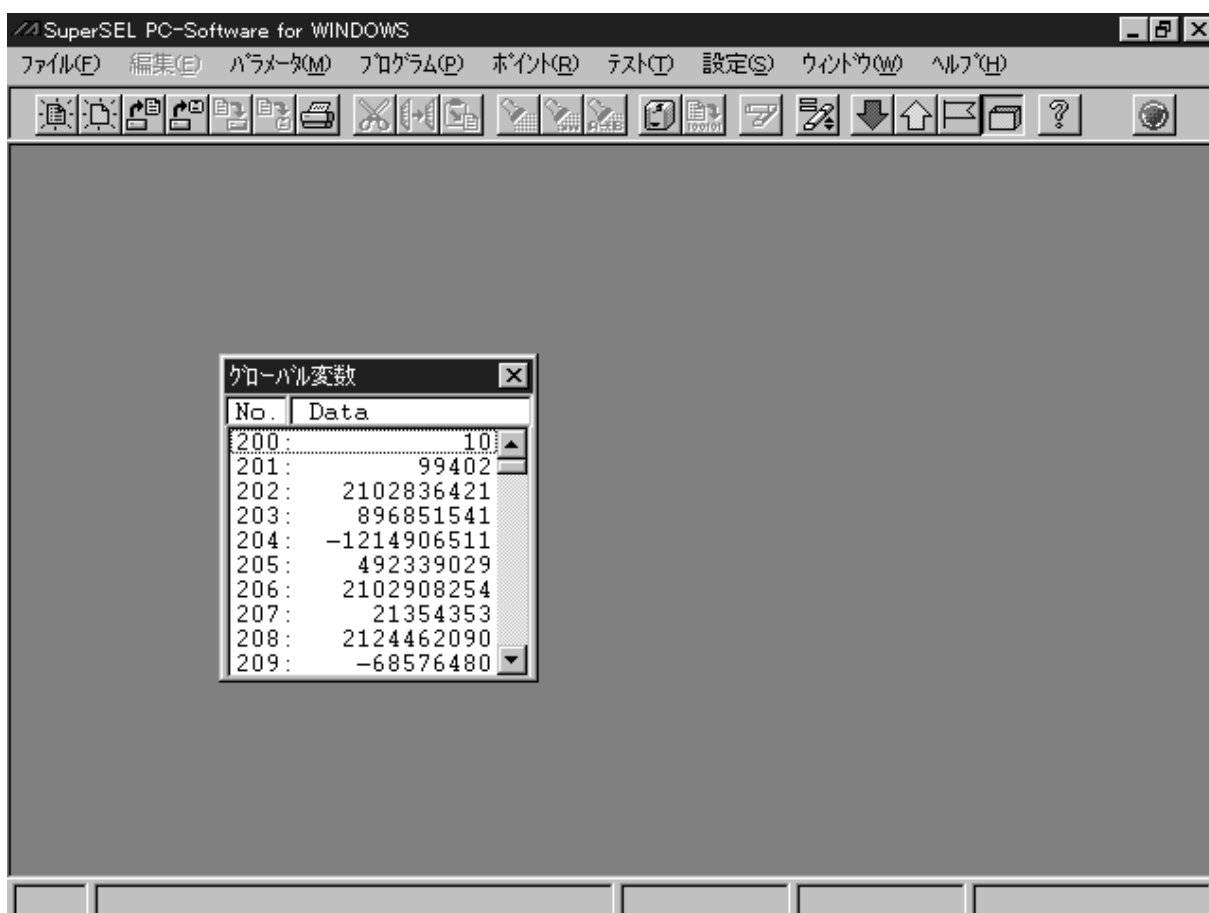


10 .グローバル変数ウィンドウ

メニューからテスト(T) 変数(A)と選択します。

グローバル変数ウィンドウが表示されます。

現在のグローバル変数 (2 0 0 ~ 3 9 9) の値を表示します。



11 .メモリ消去ウィンドウ

メニューからテスト(T) 消去(C)と選択して下さい。

メモリ消去ウィンドウが表示されます。

パラメータ、プログラム、ポイントの内初期化するものをマークしてOKをクリックして下さい。

パラメータは、初期値がセットされ、プログラム、ポイントは全て消去されます。

初期化した後は、コントローラをリセットし、プログラムも立ち上げ直して下さい。



* 補足

「スーパーSELパソコン対応ソフトWindows版、付属アプリケーション」

* はじめに

従来「スーパーSEL用パソコン対応ソフトDOS版」をお使いになってこられたお客様が、新たにWindows版ソフトをお使いになる時、これらのデータ形式には全く互換性がない為、なにかと不便を感じられる事があると思われます。この為、以下の様にデータ・コンバータソフト(CONV.EXE)を用意致しました。

この付属ソフト(CONV.EXE)はWindows上でなくDOS上で走るものですので、その点は充分注意して下さい。尚、このコンバータを常に使用される方は、「CONV.EXE」の格納してあるディレクトリにPATH設定をして置くところからでも起動出来ます。

PATH設定はルートディレクトリの「AUTOEXEC.BAT」というファイルに以下のような一文を追加して下さい。

```
PATH=A:¥SELWIN;%PATH%
```

この例の場合は、AドライブのSELWINというディレクトリにファイルが納められている時です。(ドライブによって、適切なドライブ名を指定して下さい)

1. データ・コンバータ CONV.EXEの使い方

スーパーSELパソコン対応ソフトのDOS版とWindows版のデータを相互変換するプログラムです。これはDOS上で動作します。

一度Windowsを終了するか、DOS窓から操作して下さい。

使用法はコマンドラインより

```
CONV.EXE ファイル名.拡張子  
と入力します。
```

その際データの種別を拡張子で判別しますので、ファイル名.拡張子まで全て書いて下さい。データの種別と拡張子は次の様になっています。

ファイルの種類	DOS版	Windows版
パラメータファイル	*.PAR	*.PRM
プログラムファイル	*.F32	*.PRG
一括保存プログラムファイル	*.X32	*.ALL
ポイントファイル	*.P32	*.PNT

変換されたファイルは元のファイル名に新しいデータの種類に対応した拡張子を付けた名前になります。もし、その名前と同じ名前のファイルが存在していた場合には、

```
..FileName.EXT exist, Overwrite OK [Y:yes] ?
```

というメッセージが表示され上書きして良いか聞いてきますので、よろしければYを押して下さい。他のキーを押すと変換せずに終了、もしくは次のファイルの変換に進みます。

また、ファイルの指定にはワイルドカードが使えます。使用できるのは、*と?で、

* = 任意の文字列
? = 任意の文字

に対応します。

使用例：

```
CONV.EXE Data1.F32
```

Data1.F32 という名前のDOS版のプログラムファイルをData1.PRG という名前のWindows版のプログラムファイルに変換します。

```
CONV.EXE *.P32
```

カレントディレクトリにある全てのDOS版のポイントファイルと同じファイル名で拡張子が.PNTのWindows版のポイントファイルに変換します。

```
CONV.EXE D*.X32
```

カレントディレクトリにあるファイル名がDで始まるDOS版の一括保存プログラムファイルと同じファイル名で拡張子が.ALLになったWindows版の一括保存プログラムファイルに変換します。

```
CONV.EXE Data?.PAR
```

カレントディレクトリにあるファイル名がData+ 1文字 (Data1、Data2等)のDOS版のプログラムファイルと同じファイル名で拡張子が.PRMのWindows版のパラメータファイルに変換します。

CONV.EXE Data1.F32 Data1.PNT Data1.PAR

それぞれのファイルをDOS版からWindows版のファイルに変換します。

CONV.EXE *.*

カレントディレクトリにある全てのDOS版のファイルと同じファイル名の(拡張子に変換される)Windows版のファイルに変換します。



株式会社 **アイエイアイ**

本社・工場	〒424-0102 静岡県清水市広瀬645-1	TEL 0543-64-5105	FAX 0543-64-5182
東京営業所	〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル2F	TEL 03-5803-7803	FAX 03-5802-8151
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-7-2 新大阪ビル西館2F	TEL 06-6886-0301	FAX 06-6886-0311
名古屋営業所	〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2-5-10 服部ビル5F	TEL 052-323-8777	FAX 052-323-8904
仙台営業所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町14-15 アミ・グランデ二日町4F	TEL 022-723-2031	FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳3-5-17 センザビル2F	TEL 0258-31-8320	FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル3F A	TEL 028-614-3651	FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0044 埼玉県熊谷市弥生町1-15-1 クレストフクダビル2F	TEL 048-528-0270	FAX 048-528-0271
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-10-6 シャンロック石井ビル6F	TEL 046-226-7131	FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877 長野県松本市沢村2-15-23 ラルカ沢村ビル2F	TEL 0263-37-5160	FAX 0263-37-5161
静岡営業所	〒424-0102 静岡県清水市広瀬645-1	TEL 0543-64-5105	FAX 0543-64-5182
豊田営業所	〒446-0054 愛知県安城市二本木町切替7-2 錦見ビル6F	TEL 0566-71-1888	FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念3-1-32 西清ビルA棟2F	TEL 076-234-3116	FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401 京都市伏見区深草下川原町22-11 市川ビル3F	TEL 075-646-0757	FAX 075-646-0758
広島営業所	〒730-0802 広島市中区本川町2-1-9 日宝本川町ビル5F	TEL 082-532-1750	FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市梅味4-9-22 フォーレスト21 1F	TEL 089-986-8562	FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-18-1 新栄東ビル2F	TEL 092-415-4466	FAX 092-415-4467

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

IAI America, Inc.

Head Office 2690W 237th Street Torrance, CA90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815
Chicago Office 1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524